

進学指導研究生を経験して

東京都立八王子東高等学校 教諭 大平 剛弘

1 はじめに

東京都では若手教員の育成の一環として「進学指導研修」という取組を実施している。

これは、東京都の進学指導に関する知識を若手教員に早い段階から学ばせ、将来に進学指導重点校等の進学に関する専門的資質を持った教員の育成にある。

教育庁の資料によると、『進学指導研修は、教科指導に優れた若手から中堅までの教員を進学指導重点校に指定されている都立高等学校に定数外で異動させ、教育公務員特例法第 22 条の第 3 項に基づく 1 年間の長期研修を行う中で、進学指導特有の知識や技能を継承し、将来、都立高等学校の進学指導の中核となる教員として育成する取組』とある。

この取組は 5 年間で計 50 人を選出し(以降、進学指導研究生と呼ぶ)、今年度はその 5 年目にあたる。

多くの学校では、基本的に進路指導部に配属され、進学校特有の授業実践や進路指導の在り方について学ぶ。

また、授業については週に 6~8 コマほど受け持ち、IT 形式で指導教諭等ベテラン教員から毎回の授業についてコメントや改善点を指摘していただくという非常に恵まれた環境での進学指導研修である。

私は、今年度の研究生として研修をさせていただいている。1 年間の研修内容や取組について以下に記す。

2 進学指導研究生としての研修内容について

教育庁発行の「進学指導研修の手引き」によると、進学指導研修は下記のように書かれており、大きく 2 つに分けた研修と連絡会から構成されている。

(1) 教科指導力を高める研修

- ① 指導教員との IT による教科指導力の向上
- ② 補習・補講、個別指導の実施
- ③ 配置校及び他の進学指導重点校での授業参観
- ④ 進学指導のための授業力向上研修の受講

(2) 進学指導力を高めるための研修

- ① 学力向上教材集の作成への関与
- ② 模擬試験や定期考査の作問への関与
- ③ 進路指導データの分析

(3) 進学指導研究生連絡会

上記(1)(2)は主に校内で行う内容である。

上記(3)の連絡会に関しては教育庁幹部も出席される会で、年に 3 回程度実施される。

その連絡会において今までの研修内容の実績やまとめを発表し、最終報告会では 1 年間の研修の成果と今後の在り方を発表していく流れになっている。

3 自身の研究生生活

私は進路指導部に配属され、教科指導以外は主に下記のような業務を行っている。

- ① センター試験や 模試等のデータ処理、傾向分析
 - ② 予備校主催の大学説明会への出席
 - ③ 進路部主催の行事運営・準備
 - ④ 大学が主催するフォーラムや高大連携事業などの運営・引率
 - ⑤ 進路部宛の郵送物の仕分け・アンケート等の回答
 - ⑥ 各大学の入試要項や赤本の整理
- ⑤と⑥については日々の業務である。

①は 3 学年の記述・マーク模試の結果が返ってきた後に各クラス別・文理別・志望大学別などに整理して弱点分析などをする業務である。今年度は各教科の上位下位者を新たに資料に載せるという取組も行った。

②の説明会は非常に有意義な時間であり、近年の入試動向について情報を得られたり、教科指導のポイント等も知ることができた。

③と④については進路部に在籍しているため、進学校特有の取り組みを知ることができた。

4 まとめ

今年度の進学指導研究生メンバーは「数学を苦手とする生徒が多い学校」からの異動者が多く、教育庁の進学指導研究生担当者も「勉強ができない生徒の気持ちをわかっていて、授業で創意工夫を行っている人を中心に採用した」と仰っている。

とは言え、私にとっても昨年 3 月までの前任校では、どのようにしたら繰り下がりの引き算を全員が理解してくれるのか悩んだり、多種多様な特徴をもつ生徒に対して個別の対応をどのようにとればよいのかで悩んだりしたことが多かった。

特に前任校での最後の 1 年間はこのような様々な特徴をもった生徒への適切な対応を自身の課題としていた。そのため、数学科であるにも関わらず、生徒の心理状況把握に費やす時間が圧倒的に多かったと思う。

私自身の教師人生の目標として、やはり進学校で教えたいという思いは非常に強くあった。そのような思いを抱いている中で今回の進学指導研究生にとり研修させていただいていることにとっても感謝している。

研修中の 1 年間は非常に有意義な時間であり、様々なことを学ばせていただいている。上述のような進路指導に関するだけでなく、教科指導においても進学校特有の授業展開を学んでいる。さらに大ベテランである指導教諭の方からも助言をいただけるため、自身の指導力の向上を強く感じている。

このような制度で研究生として 選んでいただいたことに感謝し、その思いに応えられるように研鑽を積み、数年後の東京都の数学教育にしっかりと寄与できるような教員へと成長していきたい。